

## 会 議 録

会議名	平成30年度 第1回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成30年7月24日(火) 10:00~11:30
開催場所	丸亀市役所 本館5階第2会議室
出席者	<p><b>出席委員</b> 岩永十紀子、鹿子嶋仁、佐藤友光子、森茂、桑田桃子、宮武稔</p> <p><b>欠席委員</b> 佐藤常光</p> <p><b>事務局</b> 市長公室長 山田理恵子 (市長公室秘書政策課) 課長 山地幸夫、副課長 窪田徹也、担当長 野本政宏、主査 宇野大志郎</p>
議 題	<p>1. 平成29年度行政評価(外部評価)結果の対応について</p> <p>2. 平成30年度行政評価(外部評価)について</p> <p>3. その他</p>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地課長	<p>定刻が参りましたので、ただ今より丸亀市行政評価委員会を開会いたします。会長が選任されるまでの間、進行役を務めさせていただきます秘書政策課の山地と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、まず、行政評価委員会委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。お名前をお呼びいたしますので、順に委嘱状をお受け取りくださいますようお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">&lt;山田市長公室長より各委員に委嘱状の交付&gt;</p>
山地課長	<p>それでは、ここで山田市長公室長より、皆様にご挨拶を申し上げます。</p>
山田公室長	<p>行政評価委員の皆様には、本市の各種事務事業について評価をいただくということで、多くの作業をお願いすることもあるかと思いますが、これから2年間よろしくお願いいたします。我々も内部評価として自己評価を行っていますが、行政外部の専門的な見地、あるいは市民の皆様が目線から忌憚のないご意見をいただきまして、市政に還元していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
山地課長	<p>続きまして、各委員より一言ずつ自己紹介をいただきます。</p> <p style="text-align: center;">&lt;各委員自己紹介&gt;</p>

山地課長	<p>次に事務局の自己紹介をさせていただきます。</p> <p>&lt;事務局自己紹介&gt;</p>
山地課長	<p>以上のメンバーで行政評価委員会を進めさせていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>次に、本日配布いたしました会議資料のご確認をお願いします。まず、事務局より「丸亀市行政評価委員会について」説明させていただきます。</p>
秘書政策課 宇野	<p>&lt;資料に基づき説明&gt;</p>
山地課長	<p>ご質問等がございますでしょうか。</p> <p>無いようですので、会長、副会長の選任に移らせていただきます。丸亀市附属機関設置条例第6条第1項に、「附属機関に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める」とあります。いかがいたしましょうか。</p>
岩永委員	<p>事務局の考えはありますか。</p>
山地課長	<p>事務局としましては、会長は鹿子嶋委員、副会長は森委員にお願いできればと考えておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>&lt;異議なし&gt;</p> <p>鹿子嶋委員、森委員におかれましては、ご了承いただけますでしょうか。</p> <p>&lt;両委員了承&gt;</p> <p>それでは、鹿子嶋会長、森副会長よろしくお願いたします。</p> <p>では、改めまして会長、副会長より一言ずつ、ご挨拶をお願いたします。</p> <p>&lt;会長、副会長挨拶&gt;</p>
山地課長	<p>ありがとうございました。それでは、丸亀市附属機関設置条例第7条に基づきまして、会長に議長を引き継ぎますので、よろしくお願いたします。</p>
鹿子嶋会長	<p>それでは、早速進めさせていただきます。議事に入ります前に、現在7名の委員のうち6名のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>では、議事の1「平成29年度外部評価結果への対応について」事務局の説明をお願いします。</p>

秘書政策課 宇野	<資料に基づき説明>
鹿子嶋会長	過去の外部評価について2つの事例を示していただきました。
秘書政策課 宇野	1つ目は、総合計画の計画期間終了後に市の施策全体について評価をいただいたもので、2つ目は、市の事業から5事業程度に絞って評価をいただいたものです。現在の委員の皆様には、2つ目の資料のようなかたちで作業を進めていくイメージを持っていただければと思います。
鹿子嶋会長	我々が行っていく評価は、事業を選定して進めていくとのことですが、他にご意見がないようでしたら、事業選定の基準など含めまして、議事の2「平成30年度の外部評価について」事務局より説明をお願いしたいと思います。
秘書政策課 宇野	<資料に基づき説明>
鹿子嶋会長	外部評価の手法とスケジュール、それから具体的な事業選定について説明がありました。スケジュールはあくまで予定とのことですが、評価を終える目標の時期は決まっていますか。
秘書政策課 宇野	先ほどのPDCAサイクルの観点からですが、評価結果を次年度の予算編成に活かしていきたいと考えていますので、予算編成の始まる10月頃を目標に進めていければと思います。
岩永委員	前回の経験から申しますと、スケジュールや進め方の点では問題ないと思います。
鹿子嶋会長	ヒアリングに関しては、1事業あたり20分程度とのことですが、手持ち資料のようなものは、いただけるのでしょうか。
秘書政策課 宇野	評価事業が決まりましたら、速やかに関係資料を送付させていただきますので、ヒアリング当日はその資料などをもとにして、担当課へご質問をいただければと思います。
鹿子嶋会長	評価の進め方やスケジュールについてはよろしいでしょうか。それでは次に、事業の選定にまいります。事務局の考えについても説明がありましたが、あくまで案ということで、このような事業が良いなど、委員の皆様のご意見をいただければと思います。
佐藤委員	事務局案の選定の観点について説明をいただけますか。それから、「小児生活習慣病対策の推進」については、2箇所記載されていますが、特段の理由があり

	ますか。
秘書政策課 宇野	「小児生活習慣病対策の推進」については、「IV 健康に暮らせる」における取組の一項目として基本に考えていますが、子どもに関することでもありますので、「I 心豊かな子どもが育つ」の中で再掲しており、双方の視点から推進すべきものと考えています。今年度の評価事業は、総合計画の5つの体系から1事業ずつ選定できればと考えていますが、基本的に重点プロジェクトの中でも優先度が高いと思われるものを提案しています。Iの取組の中に喫緊の課題もございますが、まだ事業が始まったばかりのものもあり、結果的に再掲事業を選んだかたちとなっています。
窪田副課長	補足ですが、建設事業のように何年かで事業が終了してしまう取組は、評価としてなじまないのを除外しております。それから、今回の外部評価は平成29年度に実施した事業に対して評価していただきますので、今年度から取組が始まるものも除いています。事業の持つ性格や社会的な状況、現在の丸亀市の取組状況を踏まえて、5つの事業を提案させていただいております。
佐藤委員	担当課が希望する事業はありましたか。
窪田副課長	庁内に調査をかけましたが、今回についてはございませんでした。
桑田委員	「小児生活習慣病予防の推進」と「食育による健康増進の実現」は似ている点があるので、別の取組を選定できれば良いと思います。
鹿子嶋会長	確かに重なる部分もありますので、別の観点から選べないでしょうか。Iのカテゴリーで、第二候補など事務局の考えはありますか。委員の皆様はいかがででしょうか。
佐藤委員	子育て支援に関わるものが相応しいと思います。
窪田副課長	先ほど申し上げた評価になじまない事業を除いて、事務局の考えを申しますと、例えば「まる育サポートの充実」は丸亀市が子育て支援の中心に据えて取り組んできているものです。また、潜在的な課題となっている「DV及び児童虐待防止の推進」も候補として考えられます。
鹿子嶋会長	今の二つの取組は、全国でも共通の課題となっているものです。予算規模なども含めて、このどちらかでいかがででしょうか。
窪田副課長	まる育サポートの事業費には、新しいシステムの導入経費も含まれていますので、予算規模よりも、むしろ取組の目的に着目していただければと思います。

岩永委員	まる育サポート相談窓口の設置はこれからですか。
窪田副課長	既に設置しており、相談事業としては継続して実施しておりますので、評価をいただく点では問題ありません。
山地課長	システム構築の目的として、相談した内容を、複数の部署が連携し情報共有しながら、問題の解決を図っていく意味合いがあります。
岩永委員	<p>まる育サポートはある程度体制が充実しているようですし、私たちが評価することで改善がより期待されるという点で言いますと、DV・児童虐待防止に関することは潜在的な課題として大きいと思います。</p> <p>取組が遅れているものは意見が出しやすいですし、そこに切り込んでいくのが外部評価の使命の一面だと感じています。</p>
鹿子嶋会長	<p>件数も急増している状況ですし、対応が間に合っているのかどうか気になるところです。Iの分野からは、「DV及び児童虐待防止の推進」に決定したいと思います。</p> <p>「多様な情報発信の充実」に関連して、昨今の頻発する災害状況を考えますと、災害時の情報発信の仕組みなども考察が必要と思われる。それから、「インターンシップの充実」の取組状況について、具体的に説明をお願いします。</p>
秘書政策課 宇野	首都圏・関西圏の大学生をターゲットに、就職活動のスタートとして、地元企業の協力をいただきながら職場体験などに取り組んでいます。Uターンや、移住などのIターンも含めて、地方の人口を少しでも増やしていくための取組の一つです。
宮武委員	豪雨や地球温暖化など異常気象への対応、防災対策も大きな課題だと感じています。丸亀市も大規模災害に無関係ではありません。
鹿子嶋会長	<p>市民としては安全に暮らせることが一番であり、もっともなご意見だと思います。防災も一つ大きなテーマであり、丸亀市の取組に期待したいところです。</p> <p>それでは、今年度の評価事業については、以上でよろしいでしょうか。最後に議事の3「その他」につきまして、事務局より何かございますか。</p>
秘書政策課 宇野	次回の会議は8月末を予定しております。評価事業が決まりましたので、順次関係資料を送付いたします。不足資料やご不明な点がございましたら、事務局までお願いします。
鹿子嶋会長	それでは、以上で本日の会議を終了します。

(会議終了)